

教科名	国語	科目	国語演習	週授業時間	2時間
-----	----	----	------	-------	-----

1. 教科書および副教材・参考書

教科書：「新編新しい国語2」（東京書籍）

副教材：「教科書準拠ワーク よくわかる国語の学習2〔東京書籍版〕」（明治図書）

：「つまづかない文法の学習」（新学社）※一年次に配布済

：「国語便覧 千葉県版」（浜島書店）※一年次に配布済

2. 授業の目標および内容

日常なにげなく使っている言葉にもいろいろな法則があることを学習します。

また、古典文学作品に触れて我が国の言語文化に対する理解を深めます。

加えて、「話す・聞く」「書く」を中心とした様々な言語活動を行い、人との関わりの中で伝え合う力を高めます。

3. 試験について

	1学期		2学期		3学期
定期試験	一次 5月	二次 7月	一次 10月	二次 12月	期末 3月
学力試験			第1回 9月		第2回 1月

内容・難易度について

① 定期試験：教科書・副教材・プリントなどの授業範囲内で、問題を作成します。

「国語」60点前後＋「国語演習」40点前後、合わせて100点満点で作成します。

尚、1学期は書写が10点分入るので、「国語」50点前後＋「国語演習」40点前後、合わせて90点満点で作成します。

※ 授業の進度により、比率が変化することもあります。

② 学力試験：教科書以外の文章を用いて、中学2年程度の問題を作成します。

4. 課題・補習について

必要に応じて課題を出したり、補習をおこなったりします。

5. 評価の視点

定期試験を元に、学力試験、小テスト、ノート提出などを参考に平常点として、加点または減点して評価をします。

授業計画

学期	単元	学習内容	備考
1	口語文法 名詞 副詞・連体詞・接続詞・感動詞 動詞	名詞とは何か、名詞の種類について学習する。 副詞・連体詞・接続詞・感動詞それぞれの特徴や種類を学習する。 動詞についての活用形、活用の種類、音便などを学習します。また他動詞と自動詞、可能動詞、補助動詞について学習する。	口語文法に関する小テスト 百人一首小テスト 語彙力アップ小テスト を実施し、知識の定着をうながす。

	<p>古典 『枕草子』 『徒然草』</p>	<p>伝統的な言語文化に触れ、随筆の筆者のものの見方、考え方を学ぶ。また筆者の目の付け所や表現の仕方も学ぶ。</p>	
2	<p>古典 『平家物語』 祇園精舎 那須与一</p> <p>『漢詩』</p> <p>口語文法 形容詞</p> <p>形容動詞</p> <p>意見文</p>	<p>伝統的な言語文化に触れ、七五調、対句などの表現の特徴を意識しながら、描かれた状況や心情を読み取り、武士の価値観や生き方について学ぶ。</p> <p>国語の教科書の「伝統文化を楽しむ」の単元で、古典の学習をする。返り点や送り仮名も学ぶ。</p> <p>形容詞についての活用形、補助形容詞について学習する。</p> <p>形容動詞についての活用形、形容動詞の語幹の用法、形容動詞と紛らわしい語の識別を学習する。</p> <p>説得力のある根拠を考え、根拠を明確に示して自分の意見を書くことを学習する。</p>	<p>口語文法に関する小テスト 百人一首小テスト 語彙力アップ小テスト を実施し、知識の定着をうながす。</p>
3	<p>口語文法 助詞</p> <p>助動詞</p>	<p>格助詞・接続助詞・副助詞・終助詞の用法について学ぶ。</p> <p>助動詞の意味と活用について学ぶ。</p>	<p>口語文法に関する小テスト 百人一首小テスト 語彙力アップ小テスト を実施し、知識の定着をうながす。</p>